

# PLAY BACK 2010

広州で行われるアジア大会代表選考会を兼ねた29回大会。411人のランナーが、気温5.8度で小雨が降る悪条件の中、力強くスタートを切った

## 第29回大会 2010.1.31

参加者:411人/日本406人、外国5人(5カ国) 完走356人  
気温:5.8℃(スタート時) 湿度:70%(スタート時)

順位	名前	年齢	国名(所属)	タイム
1	A・ゴベナ	27	エチオピア	2.25.14
2	M・バロス	29	ポルトガル	2.25.44
3	小崎まり	34	ノーリツ	2.26.27
4	L・シモン	36	ルーマニア	2.27.11
5	小幡佳代子	38	アコム	2.27.19



## 39キロでスパート 伏兵・ゴベナが マラソン初優勝

30キロを過ぎるとアマネ・ゴベナ(エチオピア)とマリサ・バロス(ポルトガル)のマッチレースに。ゴベナが39キロ付近でスパートするとバロスはついていけず、2時間25分14秒でゴールテープをきった



日本勢は34歳のベテラン・小崎まりが3位の2時間26分27秒でゴール。安定感のある強さを見せつけた。また初マラソンの木崎良子は2時間27分34秒の6位でゴール。浪速路からまた新たなヒロインが誕生した



序盤からレースを引っ張ったのは赤羽有紀子。最初の5キロを17分5秒、その後は5キロを16分台のラップで、30キロ地点までは大会記録に迫るハイペースを刻んだ。しかし大会直前に痛めた左足の影響もあり、大阪城公園内の下り坂で失速。無念の途中棄権となった



大阪は10度目の挑戦で、現役ラストランとした小幡佳代子は有終を飾る5位でフィニッシュ。ゴール後は同じく10度目の浪速路を走り、4位だったリディア・シモン(ルーマニア)と健闘を讃えあった